研究実施のお知らせ

2021 年 3 月 23 日 ver.1.0
2021 年 3 月 28 日 ver.1.1
2026 年 10 月 13 日 ver2.0

研究課題名

日本外傷データバンク（JTDB）を用いた、緊急手術を必要とする重症外傷患者における来院時間から手術開始までの時間と院内死亡に関する検討

研究の対象となる方

本研究の対象となるのは、2004 年から 2018 年の間に全国の救急医療施設を受診され、重症外傷（6 段階の重症度スコアで 3 以上）を有する患者様です。

研究の目的・意義

日本救急医学会と日本外傷学会が日本外傷データバンクとして全国規模で広く集積した、各施設における外傷診療のデータを利用します。重症外傷診療において、治療開始までの時間が予後を改善し得るか明らかにすること、予後に影響し得る来院時の状態の指標などを検討することによって、本邦全体の外傷診療システム向上に寄与することを目的としています。

研究の方法

各施設が個人を特定できる情報を除外した形で、診療に関するデータをインターネット上で登録します。登録された患者基本情報（年齢、性別、受傷日時など）、受傷機転、病院前情報（現場バイタルサイン、処置など）、転院搬送情報、来院時情報（バイタルサイン）、既往歴、検査所見、救命処置、輸血、手術、診断名、合併症、入退院情報（入院先、入院日数、退院先、死亡など）、などの情報を日本外傷診療研究機構（JTCR）が取りまとめ、島根大学は郵送で JTCR より記録媒体に記録されたデータの提供を受けます。これらの情報から、来院時に緊急手術が必要と判断された患者において来院から手術開始までの時間と院内死亡の関係について検討します。

個人が特定できる情報（氏名、住所、生年月日など）は除外した形でのデータを利用します。データの紛失、改ざん、漏えいなどを防ぐために、データベースへのアクセスは ID とパスワードにより適切に管理しています。研究成果は個人が特定できないような形で発表します。

研究の期間

2021 年 6 月 21 日～2031 年 3 月 31 日

研究組織

この研究は島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：渡部　広明
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座　　教授

既存情報の情報提供機関
特定非営利活動法人日本外傷診療研究機構

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021 年 10 月までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：渡部　広明
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院　高度外傷センター
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2757　　FAX　0853-20-2753